

無線LANを暗号化する(WEPキーを利用する場合)

無線LANで送受信するデータの暗号化に必要な設定となります。

※P14で、すでにWEPキーの設定を行っている場合は、改めて設定を変更する必要はありません。



1

「セットアップメニュー」画面(P12)を表示し、「詳細設定モード」(または「詳細設定」)をクリックします。



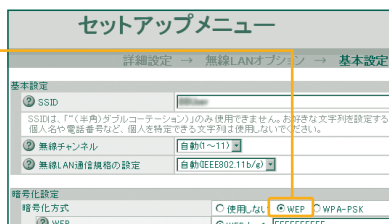
【光BBユニット<タイプA>の場合】

「詳細設定モード」をクリックし、左側に表示されたメニューから「無線LAN暗号化」をクリックします。



2

「暗号化設定」欄の「暗号化方式」(または「暗号化」)欄で「WEP」を選択します。



3

「WEP」(または「暗号強度」)欄の「▼」をクリックして、暗号化の種類を選択します。



64bitsよりも128bitsがより高度な暗号化となりますが、通信速度が低下します。また16進数と半角英数字は特に機能的な違いはありませんのでご利用しやすい方を選択してください。

4

〔WEPキー1〕～〔WEPキー4〕(または〔使用する暗号キー〕)からキーを選択します。
通常は、〔WEPキー1〕(または〔キー1〕)のみ
ま使用してください。

5

〔WEPキー〕の入力欄に、④で選択した
暗号化の種類に対応したWEPキーを、
全て半角で設定します。

入力した情報は、お忘れのないよう、本冊
子巻末の「設定情報一覧表」に記入をお
願いいたします。



お客様のお名前、ご住所、生年月日、年齢、
性別、電話番号など、個人を特定できる情
報は、絶対に設定しないでください。



WEPキーの設定方法は
P16をご参照ください。

忘れずにメモしておこう！

- ・ 暗号化の種類
- ・ 設定したWEPキー



【光BBユニット<タイプA>の場合】
「暗号キー」を同様に設定します。

6

画面下の〔OK〕(または〔保存〕)をクリッ
クします。

7

「設定内容を登録しました。」と表示されたら、左側のメニューの下に表示されている**〔再起動〕**をクリックします。



check

引き続き、「詳細設定モード」のその他の設定を行う場合は、ここで**〔再起動〕**をクリックせずに、左側のメニューから設定したい機能をクリックしてください。



8

再起動状態を確認する画面が表示される場合は、**〔OK〕**をクリックしてください。ここまでの設定内容が保存され、モデムが再起動します。しばらくそのままお待ちください。



9

「セッアップメニュー」画面に戻ります。

以上でWEPキーを利用した暗号化の設定は完了です！



無線LANを暗号化する(WPA-PSKを利用する場合)

※トリオモデム3-G plus／BBモデム4-G／光BBユニットをご利用のお客様が対象です。

WPA-PSKを利用した暗号化の設定を行うためには、パソコン側の無線LANアダプタも「WPA-PSK:TKIP」または「WPA-PSK:AES」に対応している必要があります。お使いの無線LANアダプタが対応しているかどうかは、無線LANアダプタに付属の説明書をご確認いただくか、各メーカーにお問い合わせください。



1

「セットアップメニュー」画面(P12)を表示し、**〔詳細設定モード〕**(または**〔詳細設定〕**)をクリックします。

【光BBユニット<タイプA>の場合】

〔詳細設定モード〕をクリックし、左側に表示されたメニューから**「無線LAN暗号化」**をクリックします。

2

〔暗号化設定〕欄の**〔暗号化方式〕**(または**〔暗号化〕**欄)で**〔WPA-PSK〕**を選択します。

3

〔WPAモード〕(または〔事前共有キー〕)欄をクリックして、〔PSK:TKIP〕もしくは〔PSK:AES〕を選択します。



ご利用のパソコン側の無線LANアダプタで設定可能なものを選択してください。

ヒント



TKIPとは

「Temporal Key Integrity Protocol」の略で、WEPを拡張した技術です。一定量のデータを転送することに暗号化キーを更新し、従来のWEPより安全な通信が可能です。

AESとは

「Advanced Encryption Standard」の略で、WEPに代わる暗号化技術です。WEPはもちろん、TKIPよりもさらに強固な暗号化方式です。

4

〔暗号化キー〕(または〔事前共有キー〕)欄に暗号キーを設定します。
暗号キーには、8～63文字の半角英数字を入力してください。

入力した情報は、お忘れのないよう、本冊子巻末の「設定情報一覧表」に記入をお願いいたします。



お客様のお名前、ご住所、生年月日、年齢、性別、電話番号など、個人を特定できる情報は、絶対に設定しないでください。

忘れずにメモしておこう！

- ・ PSK:
- ・ 設定した暗号化キー



5

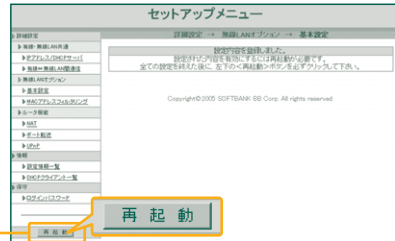
画面下の〔OK〕(または〔保存〕)をクリックします。

6

「設定内容を登録しました。」と表示されたら、左側のメニューの下に表示されている〔再起動〕をクリックします。

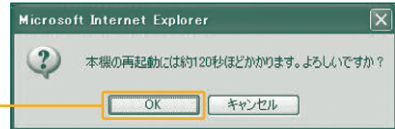


引き続き、「詳細設定モード」のその他の設定を行う場合は、ここで〔再起動〕をクリックせずに、左側のメニューから設定したい機能をクリックしてください。



7

再起動状態を確認する画面が表示される場合は、〔OK〕をクリックしてください。ここまでの設定内容が保存され、モデムが再起動します。しばらくそのままお待ちください。



8

「セットアップメニュー」画面に戻ります。

以上でWPA-PSKを利用した暗号化の設定は完了です！



SSIDの隠蔽を設定する

SSIDを周囲に発信する機能を止め、パソコン側の検索機能などで無線LANのアクセスポイントを検出できないようにします。
初期値は「無効」に設定されています。



SSIDの隠蔽を「有効」にすると、パソコン側の設定変更が必要になる場合があります。ご利用の無線LANアダプタやパソコンに付属の説明書などでご確認ください。

1

「セットアップメニュー」画面(P12)を表示し、「詳細設定モード」または「詳細設定」をクリックします。

【光BBユニット<タイプA>の場合】

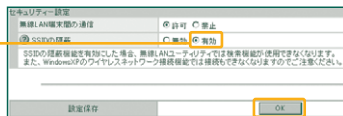
さらに、左側に表示されたメニューから「無線設定」をクリックします。



2

「SSIDの隠蔽」(または「SSIDステルス」)欄で、「有効」をクリックします。

画面下の「OK」(または「保存」)をクリックします。



3

「設定内容を登録しました。」と表示されたら、左側のメニューの下に表示されている「再起動」をクリックします。



引き続き、「詳細設定モード」のその他の設定を行う場合は、ここで「再起動」をクリックせずに、左側のメニューから設定したい機能をクリックしてください。

4

再起動状態を確認する画面が表示される場合は、「OK」をクリックしてください。
ここまでの設定内容が保存され、モデムが再起動します。しばらくそのままお待ちください。



5

「セットアップメニュー」画面に戻ります。

以上でSSIDの隠蔽の設定は完了です！

割当IPアドレスを設定する

ネットワークの設定によっては、使用するIPアドレスを指定する必要があります。

初期設定されているIPアドレスを変更したい場合は
こちらの手順で設定を行ってください。

※この設定では、グローバルIPアドレスを固定することはできません。



1

「セットアップメニュー」画面(P12)を表示し、
「詳細設定モード」(または「詳細設定」)をクリックします。

2

左側に表示されたメニューから「IPアドレス
/DHCPサーバ」または「LANポート設定」をク
リックします。

3

「本機IPアドレス/サブネットマスク」(または
「LANポート設定」)欄に、次のように表示され
ていることを確認します。

【IPアドレス】: 192.168.3.1

【サブネットマスク】: 255.255.255.0

通常はこの設定(初期値)のままで利用できます。

【光BBユニット<タイプA>の場合】
同様に表示されます。

4

〔固定割当〕(または〔該当IPアドレスの一覧設定〕)欄に、各パソコン(無線LANアダプタ)に割り当てるIPアドレスとLANアダプタのMACアドレスを設定します。

〔割当IPアドレス〕:

パソコン(無線LANアダプタ)に割り当てたいIPアドレス

〔MACアドレス〕:

無線LANアダプタのMACアドレス

入力した情報は、お忘れのないよう、本冊子巻末の「設定情報一覧表」に記入をお願いいたします。

該当IPアドレスを全て設定したら〔OK〕(または〔保存〕)をクリックします。

忘れずにメモしておこう!

・IPアドレス

〔光BBユニット<タイプA>の場合〕

同様にIPアドレスとMACアドレスを設定後、〔追加〕をクリックします。

該当IPアドレスを全て設定したら〔保存〕をクリックします。



check

複数のパソコンを設定する場合は手順④をくり返して、割当IPアドレスを登録します。

5

「設定内容を登録しました。」と表示されたら、左側のメニューの下に表示されている〔再起動〕をクリックします。



check

引き続き、「詳細設定モード」のその他の設定を行う場合は、ここで〔再起動〕をクリックせずに、左側のメニューから設定したい機能をクリックしてください。

6

再起動状態を確認する画面が表示される場合は、〔OK〕をクリックしてください。ここまでの設定内容が保存され、モデムが再起動します。しばらくそのままお待ちください。

7

「セットアップメニュー」画面に戻ります。

以上で割当IPアドレスの設定は完了です!

有線LANと無線LANの通信を制限する

モデムに複数台のパソコンを有線LAN／無線LANそれぞれで接続している場合、パソコン間の通信を禁止することができます。
初期値は「許可」に設定されています。



1

「セットアップメニュー」画面(P12)を表示し、〔詳細設定モード〕(または〔詳細設定])をクリックします。

2

左側に表示されたメニューから〔有線⇄無線LAN間通信〕をクリックします。

3

「有線⇄無線LAN間通信」画面が表示されます。

〔有線⇄無線LAN間通信〕欄で〔禁止〕をクリックします。

〔OK〕(または〔保存])をクリックします。

4

「設定内容を登録しました。」と表示されたら、左側のメニューの下に表示されている〔再起動〕をクリックします。



引き続き、「詳細設定モード」のその他の設定を行う場合は、ここで〔再起動〕をクリックせずに、左側のメニューから設定したい機能をクリックしてください。

5

再起動状態を確認する画面が表示される場合は、[OK]をクリックしてください。
ここまでの設定内容が保存され、モデムが再起動します。しばらくそのままお待ちください。



6

「セットアップメニュー」画面に戻ります。

以上で有線LANと無線LANの通信を制限する設定は完了です！



ポート転送(静的IPマスカレード)を設定する

ネットワーク対応ゲームなどを使用する場合に、ソフトウェアメーカーが指定する設定に変更することが可能です。

設定内容につきましてはソフトウェアメーカーに確認をお願いします。
セキュリティ上の問題が発生する可能性がありますので、この設定を必要とするソフトウェアを使用しないときには、必ず削除してください。

※一部のソフトウェアでは、この設定を行っても利用できない場合もあります。



1

「セットアップメニュー」画面(P12)を表示し、〔詳細設定モード〕(または〔詳細設定〕)をクリックします。

2

左側に表示されたメニューから〔ポート転送〕をクリックします。

3

No.	有効/無効	プロトコル	WAN側ポート番号	LAN側ポート番号	転送先IPアドレス
1	有効	TCP			192.168.1.1
2	有効	TCP			192.168.1.1

「ポート転送設定」画面が表示されます。ご利用のアプリケーションに必要な設定内容を入力します。

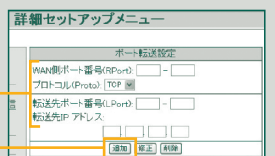
- ・〔プロトコル〕:
ご利用のアプリケーションが指定するプロトコルを選択します。
特に記載がない場合は(TCP/UDP)を選択します。
- ・〔WAN側ポート番号〕:
ご利用のアプリケーションが指定するポート番号を入力します。
- ・〔LAN側ポート番号〕(転送ポート番号):
転送先のポート番号を入力します。
特に指定のない場合は任意の番号を入力します。
- ・〔転送先IPアドレス〕:
ポート転送を行いたいパソコンやネットワーク機器が取得しているIPアドレスを入力します。



ここで設定するポート番号は、アプリケーションによって異なります。アプリケーションの製造元のメーカーにお問い合わせください。

各項目を設定後、設定した番号を〔有効〕にします。

【光BBユニット<タイプA>の場合】
同様に各項目を設定後、[追加]をクリック
します。



4

入力が終わったら、[OK] (または[保存])をクリックします。

5

「設定内容を登録しました。」と表示されたら、
左側のメニューの下に表示されている[再起
動]をクリックします。



引き続き、「詳細設定モード」のその他の
設定を行う場合は、ここで[再起動]をク
リックせずに、左側のメニューから設定
したい機能をクリックしてください。



6

再起動状態を確認する画面が表示される場合
は、[OK]をクリックしてください。
ここまでの設定内容が保存され、モデムが再起
動します。しばらくそのままお待ちください。



7

「セットアップメニュー」画面に戻ります。

以上でポート転送(静的IPマスカレード)の設定は完了です!



ポート転送の設定は、無線LANだけでなく、有線LAN(LANケーブ
ルを使ってモデムに接続)の場合にも行えます。詳しい設定方法は、
モデムに同梱の「セットアップガイド」をご覧ください。

UPnP機能を設定する

※Windows Me/Windows XP/Windows Vista/Windows 7のみUPnP機能に対応

UPnPは(Universal Plug and Play)は、パソコンや周辺機器をネットワークへ簡単に接続させるための規格です。通常、ルータに接続されたパソコンでは、インスタントメッセージやネットワークゲームなどが一部利用できなかったり、複雑な設定が必要になる場合がありますが、UPnPを利用することにより、UPnPに対応しているソフトウェアは特別な設定なしに使うことができます。

なお、初期値は「有効」に設定されています。



1

「セットアップメニュー」画面(P12)を表示し、
「詳細設定モード」(または「詳細設定」)をクリックします。

2

左側に表示されたメニューから「UPnP」をクリックします。

[illegible]

3

「UPnP」画面が表示されます。
〔有効〕を選択し、
〔OK〕をクリックします。

セッアップメニュー

詳細設定 → ルータ機能 → UPnP

UPnP設定

UPnP ☒ 有効 ☐ 無効

決定/実行 OK

4

「設定内容を登録しました。」と表示されたら、左側のメニューの下に表示されている**再起動**をクリックします。



引き続き、「詳細設定モード」のその他の設定を行う場合は、ここで**再起動**をクリックせずに、左側のメニューから設定したい機能をクリックしてください。



5

再起動状態を確認する画面が表示される場合は、**OK**をクリックしてください。ここまでの設定内容が保存され、モデムが再起動します。しばらくそのままお待ちください。



6

「セッアップメニュー」画面に戻ります。

以上でUPnP機能の設定は完了です！



UPnP対応ソフトウェアであっても、仕様によっては一部機能が利用できない、あるいはパソコンの設定変更等が必要になる場合もあります。詳しくは、各ソフトウェアメーカーへお問い合わせください。



UPnP機能の設定は、無線LANだけでなく、有線LAN (LAN ケーブルを使ってモデムに接続) でも有効となります。

パスワードを変更する

「セットアップメニュー」画面にログインするための
パスワードを変更することができます。



1

「セットアップメニュー」画面(P12)を表示し、**〔詳細設定モード〕**(または**〔詳細設定〕**)をクリックします。

2

左側に表示されたメニューから**〔ログインパスワード〕**(または**〔パスワード変更〕**)をクリックします。

3

新しいパスワードを設定します。

- ・**〔現在のパスワード〕**：
現在のパスワードを入力します。
初期値は「user」(半角小文字)です。
- ・**〔新しいパスワード〕**：
変更したいパスワードを入力します。
- ・**〔新しいパスワードの確認〕**：
確認のため、もう一度新しいパスワードを入力します。
※パスワードは半角英数文字、半角記号を最大16文字まで使用可能です。

入力した情報は、お忘れのないよう、本冊子巻末の
「設定情報一覧表」に記入をお願いいたします。

〔OK〕(または**〔保存〕**)をクリックします。

お持ちのモデム機器によっ
て、初期値が異なる場合が
あります。
モデム用無線LANカードに
本誌以外の別紙が同梱され
ているお客様は、そちらの
案内も必ずお読みください。

4

「設定内容を登録しました。」と表示されたら、左側のメニューの下に表示されている〔再起動〕をクリックします。



引き続き、「詳細設定モード」のその他の設定を行う場合は、ここで〔再起動〕をクリックせずに、左側のメニューから設定したい機能をクリックしてください。



5

再起動状態を確認する画面が表示される場合は、〔OK〕をクリックしてください。ここまでの設定内容が保存され、モデムが再起動します。しばらくそのままお待ちください。



6

「セッアップメニュー」画面に戻ります。

以上でパスワードの変更は完了です！

